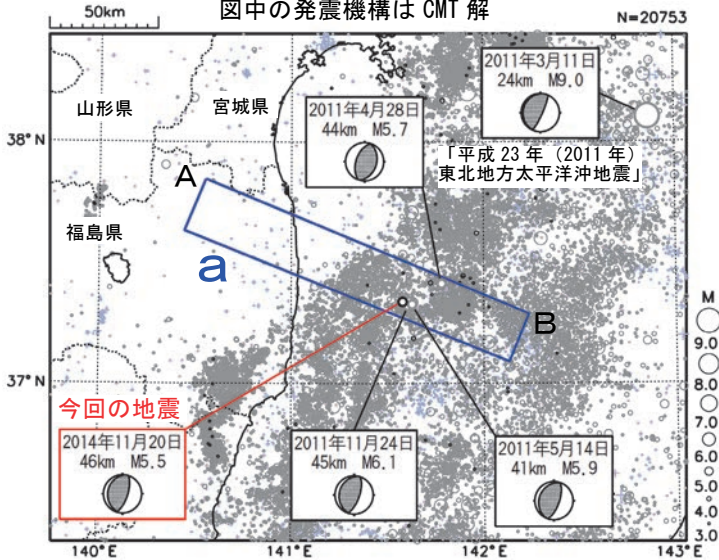
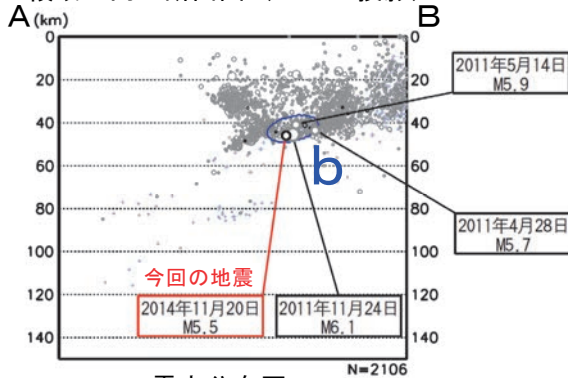


11 月 20 日 福島県沖の地震

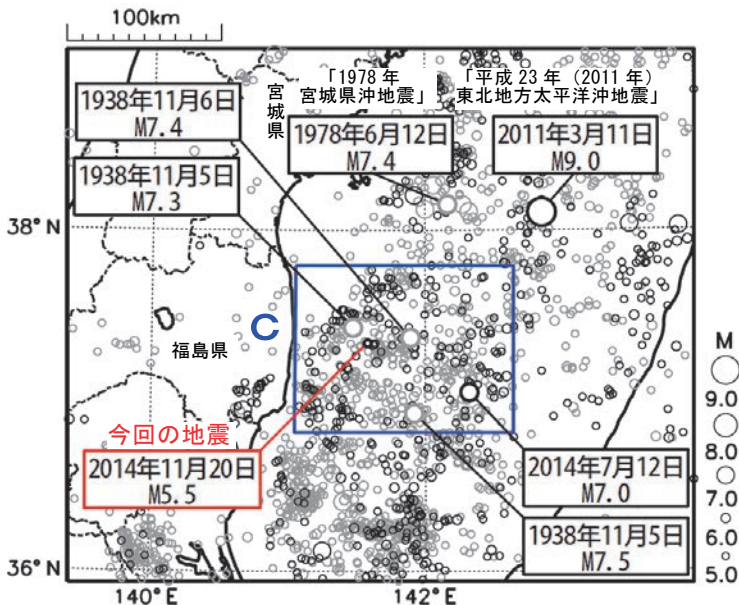
震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2014 年 11 月 30 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$)
 東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
 東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○
 2014 年 11 月の地震を濃い○で表示
 図中の発震機構は CMT 解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2014 年 11 月 30 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)
 2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

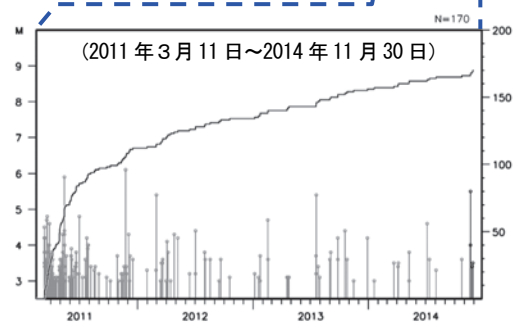
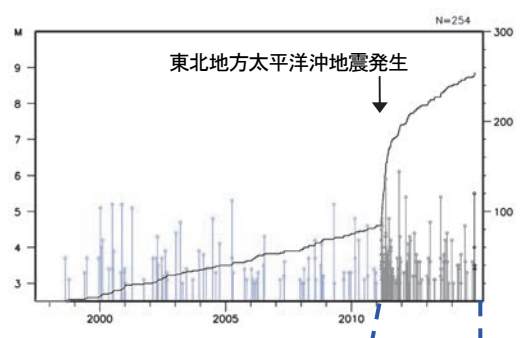


2014 年 11 月 20 日 10 時 51 分に福島県沖の深さ 46km で $M 5.5$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生以降は地震活動が活発化したが、その後次第に低下してきている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1938 年 11 月 5 日に $M 7.5$ の地震が発生し、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花淵で 113 cm (全振幅) の津波が観測された (「日本被害地震総覧」による)。この地震の発生以降、広い範囲で $M 7$ 程度の地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

